



実験車両のOPT2耐久マーチ
走行距離：11万9130km



初期登録から10年以上のクルマは、最近じゃめずらしくないよね。しかも、登録から10年も経つと、走行距離だって10万kmを超えるようなものもめずらしくない。そしてこのくらい走行距離が伸びると、エンジン内部のピストンやシリンダーから、圧縮が漏れはじめ、パワーダウンが始まっている場合が多いんだ。そこで、この添加剤を入れると……ウソみたいに圧縮が復活するようになった。

魔法の液体!
たったの数分で圧縮がもどる!
ヤレたエンジンが復活!
たったの数分で圧縮がもどる!



エンジンルームの隅々まで、60cc入りのボトルから10ccずつ、エアフィルターを抜いて、60cc入りのボトルから10ccずつ、エアフィルターを抜いて、60cc入りのボトルから10ccずつ、エアフィルターを抜いて……

NC202添加前

1番	2番	3番	4番 (ピストン)
12.7	12.5	11.9	13.7 (kg/cm ²)



OPT2編集部にやってきたころは、9万kmでいどだった走行距離も、耐久レースはもちろん、サーキットの往復や取材などでいつものまにやら11万kmの走行距離に達している。圧縮は平均12.7kg/cm²。NAでノーマルということ考えると少し低めな上、バラつきのほうも気になる。

NUTEC
NC202
コンプブースト
フォー・エンジン
価格：6000円
対応車種：汎用

NC202を各気筒に10ccずつの40ccを入れて、アイドルリングを15分くらい回したら平均が14kg/cm²に復活。3番にいたっては、2.1kg/cm²も復活した……これにはビックリだ!

NC202添加後

1番	2番	3番	4番 (ピストン)
14.0	14.1	14.0	13.9 (kg/cm ²)



このピストンやピストンリングにキズが付くのは、1回の走行距離が短いレーシングカーでもおなじで、そのキズをコーティングして保護するための添加剤をベースにしたのが、NC202ってわけだ。
ピストンのコーティングをする添加剤と言っても、注入方法はいたってカンタン。プラグを抜いて、1気筒あたり10ccを

二テックのNC202は、レーシングカーのピストンやピストンリングのコーティング剤として使われていた素材を改良した添加剤だ。
ピストンやピストンリングは、上下運動を繰り返すことで、少しずつキズが入りこれが蓄積すると、最後は圧縮漏れという状態になる。こうなってしまうと、本来のパワーが出せないうちから、パワーダウンという結果を招いてしまうんだ。
もちろん、高回転を使えば使うほど距離とは別の負荷によってシリンダーのキズや摩耗が早まっていくのはいうまでもない。

というわけで、エンジンに疲れを感じていて、オーバーホールを考えているなら、6000円をいっと投資してもイヤじゃないかな? 効果は約2万kmで、その後はまた入れればOKなんだ。てなわけで、ちょっと信じにくい魔法のケミカル系メンテナンスに、OPT2編集部内で、10万kmオーバーしている耐久マーチでテストしてみたよ。

ピストントップにNC202が付着するように入れるだけ。あとは、軽くクランクキングをしてシリンダー内に添加剤を浸透させるんだ。その後15分くらいアイドルリングをすれば、ウソみたいに圧縮が復活するという。もちろん、このNC202はレシプロ(水平対向も含む)だけではなく、ロータリーエンジンにも使えるよ。
1本に60cc入っているから、6気筒までなら6000円で圧縮が取り戻せるということになるぞ。

「ハッキリ言って、オレは添加剤なんて信じてなかったんだ。でも、この結果を目の当たりにしたら、信じちゃうってもんでしょ。手品でも見ている気分だったからね。乗った感じもエンジンフィーリングが軽くなってパワー感もあったよ。ウソだと思おうなら、試してみる価値アリだね!」

